

次世代育成支援に関する ニーズ調査集計結果

市では次世代育成支援行動計画策定のため、
次世代育成支援に関するニーズ調査を昨年11月に実施しました。
ご協力いただきました皆さんには大変ありがとうございました。
今月は集計結果の概要についてお知らせします。

調査対象

- ①就学前の児童を持つ保護者の中から
無作為抽出した1,200人
(回収数684件 回収率57.0%)
- ②小学校の児童を持つ保護者の中から
無作為抽出した1,200人
(回収数632件 回収率52.7%)

調査方法…郵送配付・郵送回収

調査期間…平成15年11月20日～12月3日

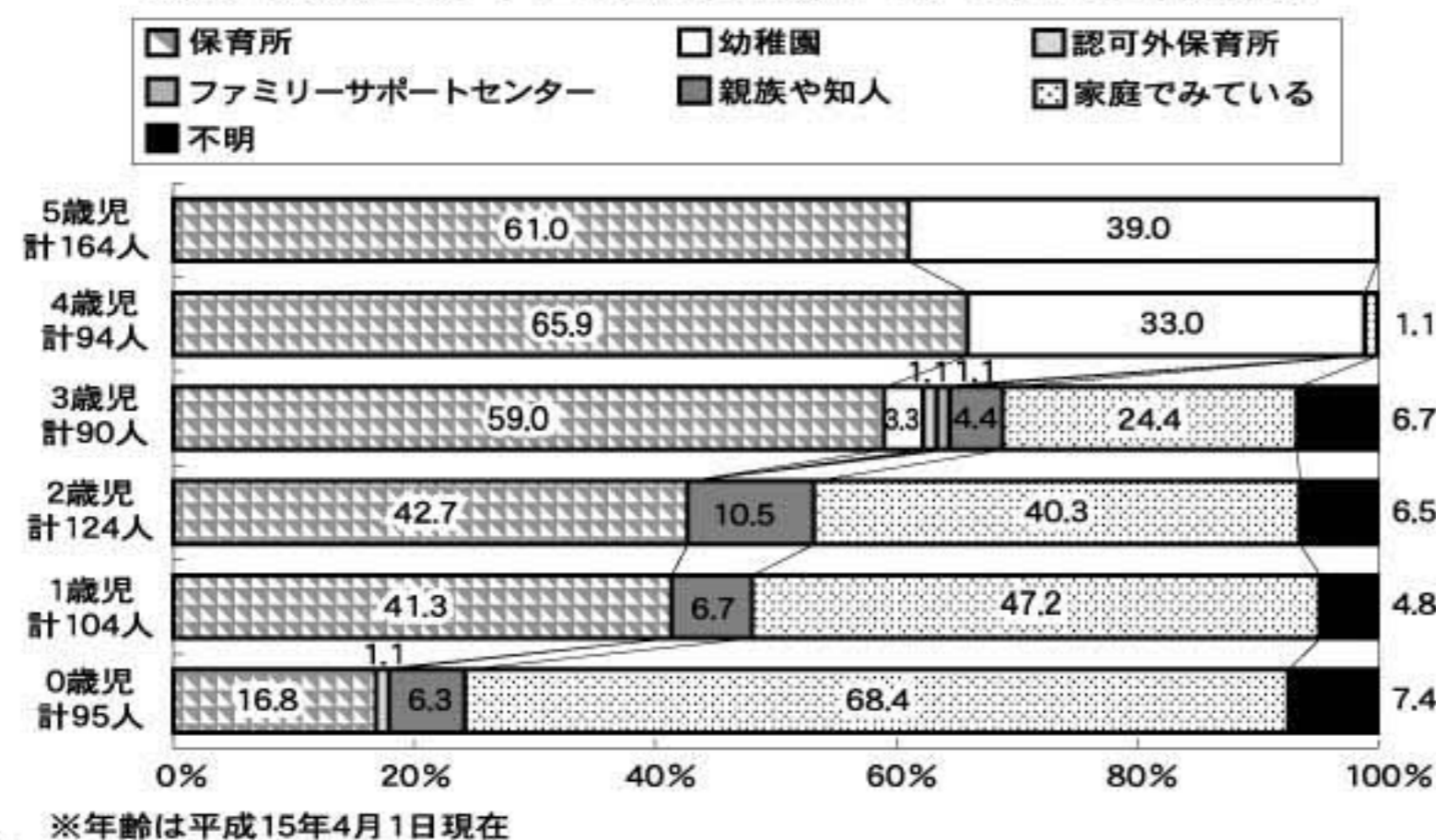
昨年七月、国において少子化対策の一環として「次世代育成支援対策推進法」が制定されました。これを受けて、市では平成十六年度中に、新たに子育て支援のための行動計画「笠岡市次世代育成支援行動計画」を策定することになりました。

このニーズ調査は、その策定にあたり、子育て家庭の実態と子育て支援ニーズを把握し、計画策定の基礎資料とするために実施しました。

調査票は二種類で、市内在住の就学前の児童を持つ保護者と小学校の児童を持つ保護者の中からそれぞれ一、二〇〇人ずつを無作為抽出し、ご協力をお願いしました。

調査の内容は、お子さんの日常生活、遊びや保育の状況、今後の保育

就学前児童の平日の保育状況（子どもの年齢別）

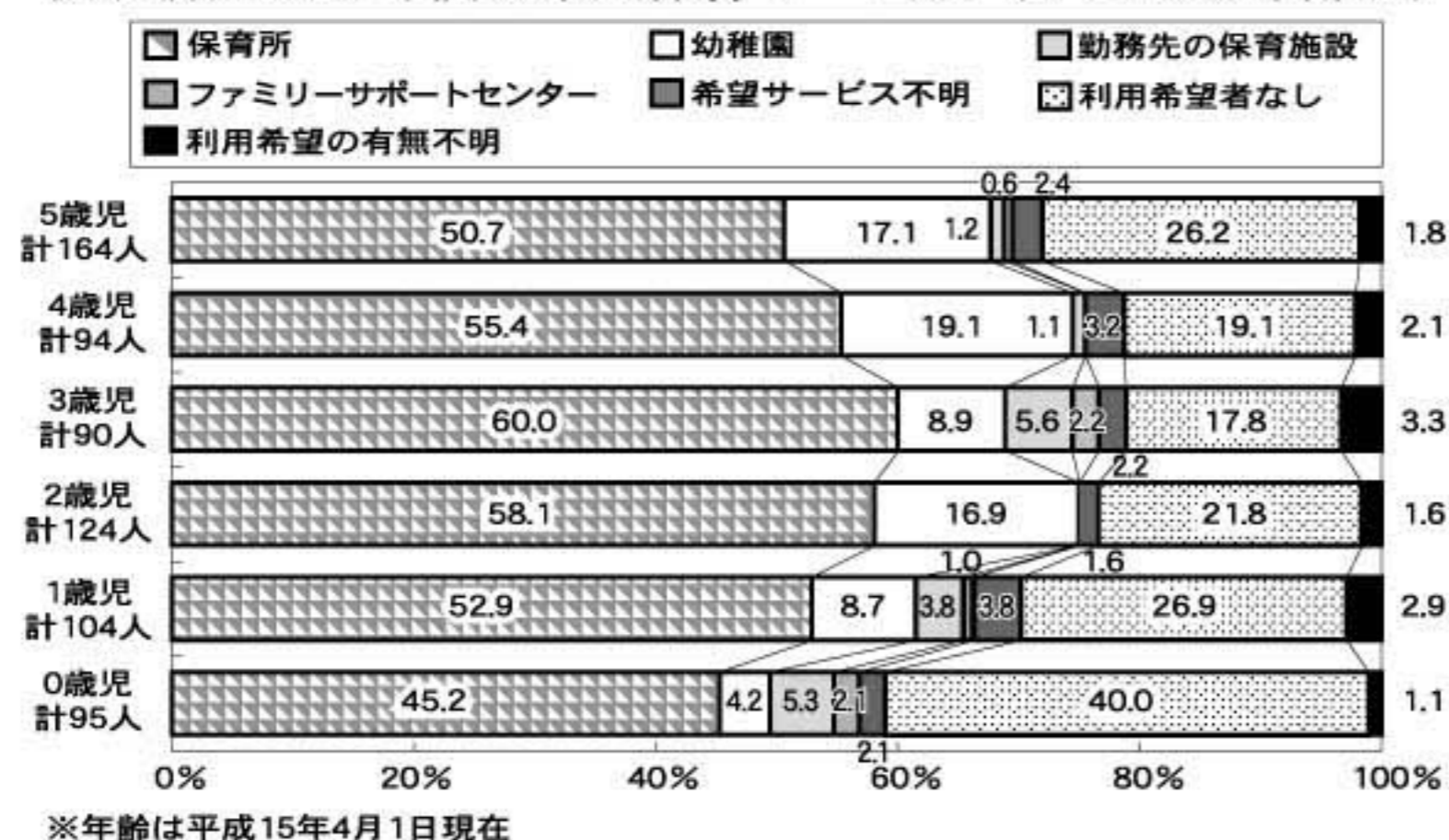


希望、子育ての様子、悩みや相談、子育て支援サービスの認知度・利用意向、さらには両親の就労状況など多岐にわたっています。

就学前児童の保育状況と今後の希望保育サービス

現在、保育所に通っている子どもは48・5%、保育サービスなどを利用せず家庭で家族がみている子どもは27・9%でした。子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて

就学前児童の今後の希望保育サービス（子どもの年齢別）



保育所をはじめとする保育サービス利用者が増え、子どもを家庭でみる割合が低くなっていることがわかります。また、四歳児と五歳児については、ほとんどの子どもが保育所か幼稚園に通っています。

一方、今後保育サービスを利用したいと回答した人は72・7%で、そのうちの73・6%が保育所を希望していました。子どもの年齢別に保育希望の割合をみると、三歳児までは現在の利用割合を上回っています。